

研究構想図

学校教育目標

児童の実態

進んで学ぶ子
思いやりのある子
じょうぶな子

- ・読書が好きな児童が多い・友達との交流を進んで行う児童が多い
- ・基礎、基本の定着が低い ・読解力が低い
- ・知識を引き出して活用することが苦手
- ・筋道立てて考える力が低い ・粘り強く取り組むことが難しい



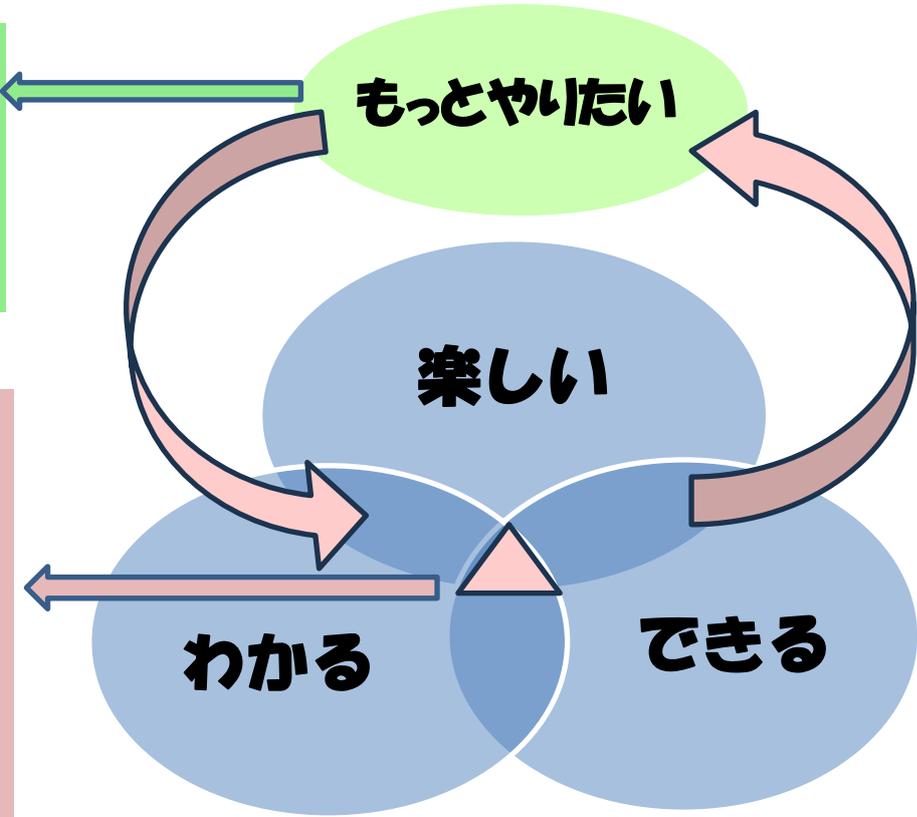
テーマ～みんなでめざす児童の姿～
みんなが わかる できる 楽しい もっとやりたい

最終的なもっとやりたいの姿
学んだことを、
「汎用的な知識・技能」
にしていく
⇒**学んだこと的生活化**

単元で目指す子供の姿の仮説

- ・〇〇がわかる！
- ・〇〇に気付く！
- ・〇〇ができる！
- ・〇〇を表現できる！
- ・〇〇すると楽しい！

※〇〇を単元に合わせて具体的に
していく
⇒**教科の本質に迫る姿をめざす**



<児童の姿を実現するための手立て> ★1年間で積み重ねていく

- 友達との関わり
- 学習環境の設定
- 学習過程・学習方法の選択
- 児童の気付きや思いをもとにした、目標・課題の設定
- 振り返りの場面の設定